

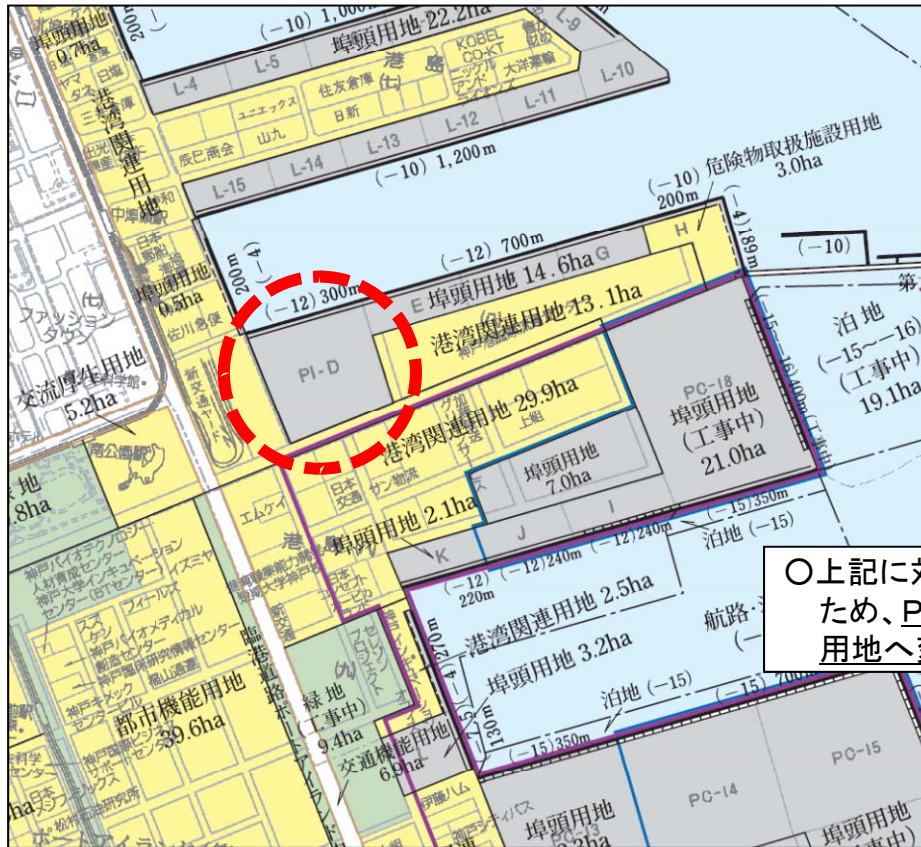
神戸港 港湾計画 一部変更

平成22年7月1日
交通政策審議会
第38回港湾分科会
資料3



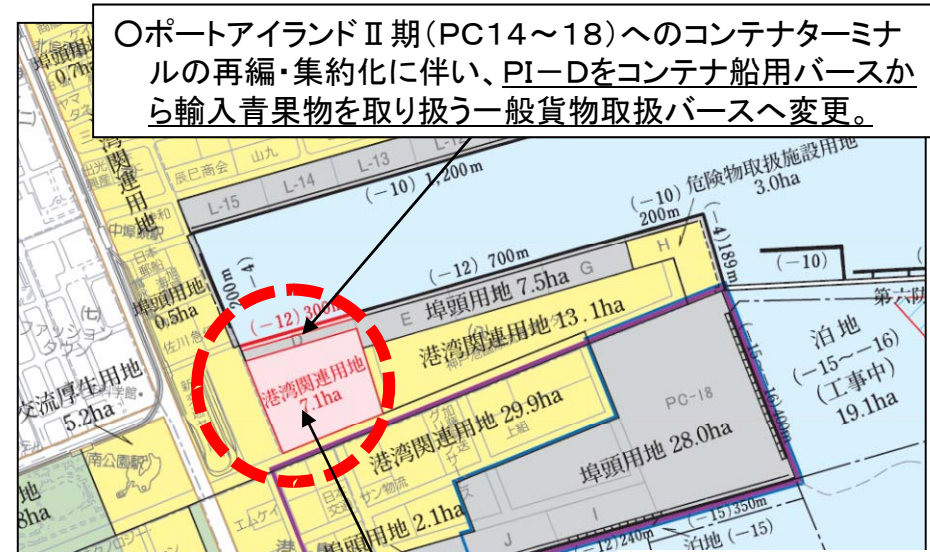
神戸港計画変更の概要

既定計画



○上記に対応して、新たな産業用地としての活用を図るため、PI-Dにおいて埠頭用地(7.1ha)を港湾関連用地へ変更。

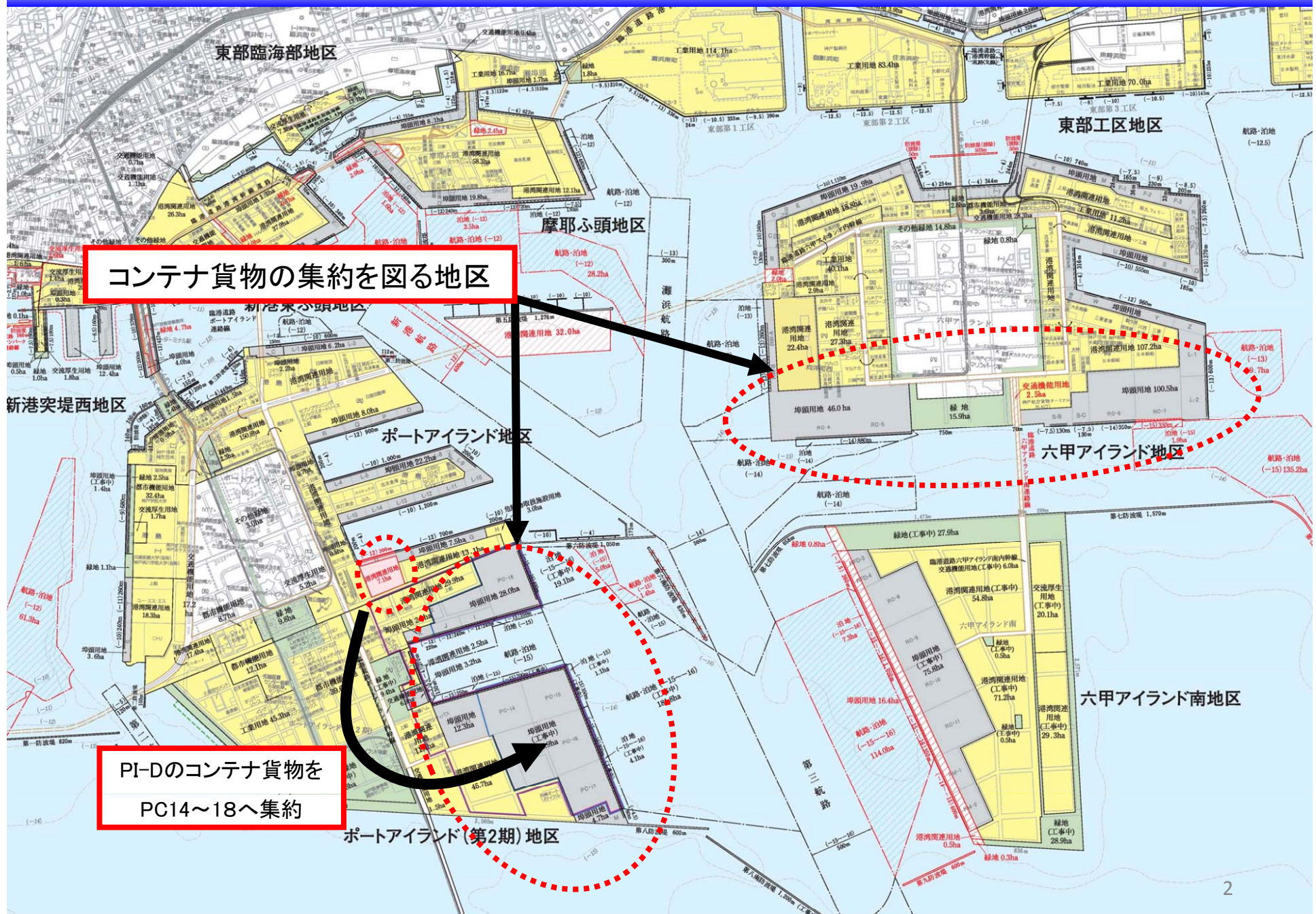
今回計画



○ポートアイランドⅡ期(PC14～18)へのコンテナターミナルの再編・集約化に伴い、PI-Dをコンテナ船用バースから輸入青果物を取り扱う一般貨物取扱バースへ変更。

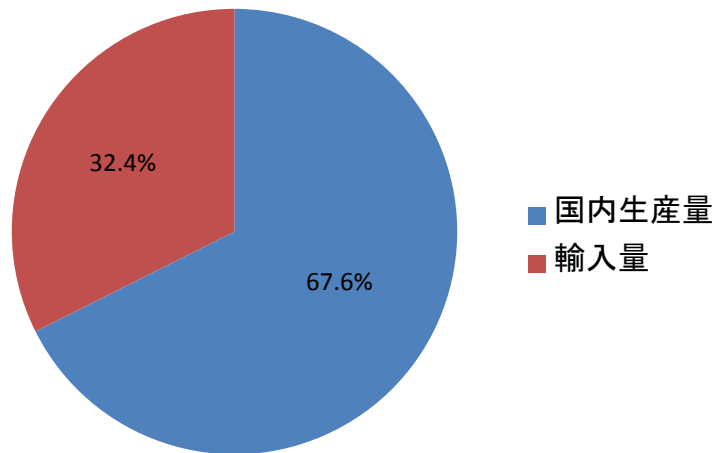
凡 例	
	航路・泊地 (既設及び工事中)
	航路・泊地 (既定計画)
	外郭施設 (既設)
	公共岸壁 (既設)
	公共岸壁 (今回計画)
	公共物揚場 (既設)
	ドルフィン (既設)
	埠頭用地 (既設)
	緑地 (既設及び工事中)
	緑地 (その他緑地) (既設及び工事中)
	交通機能用地 (臨港道路) (既設及び工事中)
	交通機能用地 (その他道路) (既設)
	その他の用地 (既設及び工事中)
	その他の用地 (今回計画)
	撤去
	効率的な運営を特に促進する区域
	臨海部物流拠点の形成を図る区域

コンテナターミナルの再編・集約

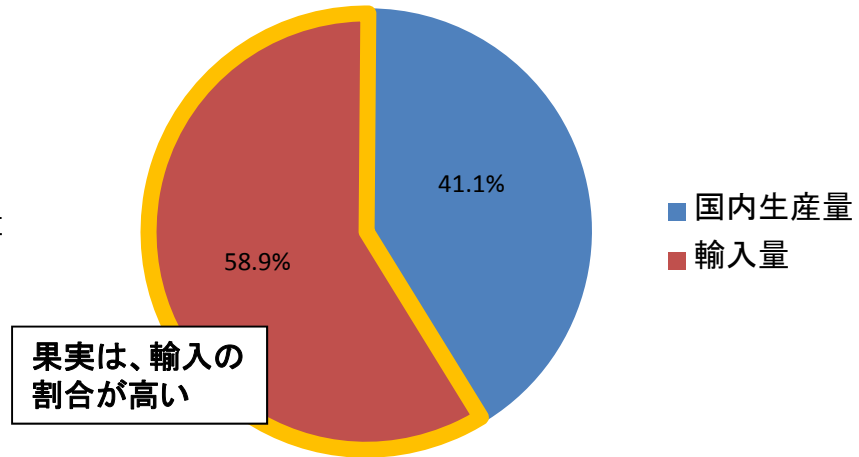


全国の青果物の輸入状況

○国内消費における国産青果物と輸入青果物の割合



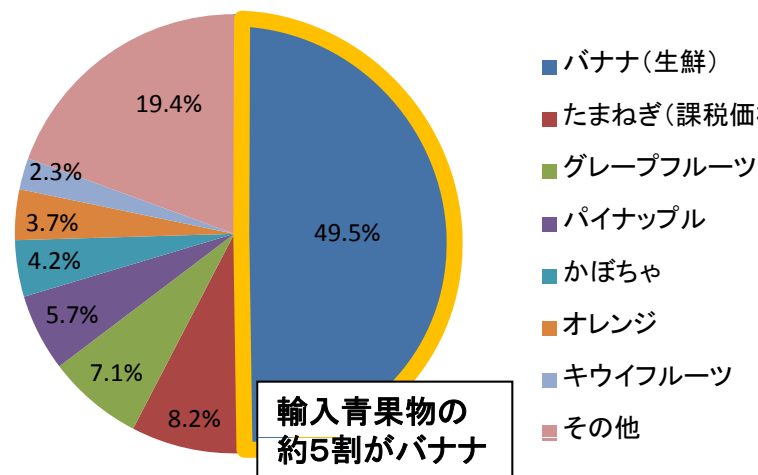
青果物の国内生産量と輸入量(トンベース・2008年)



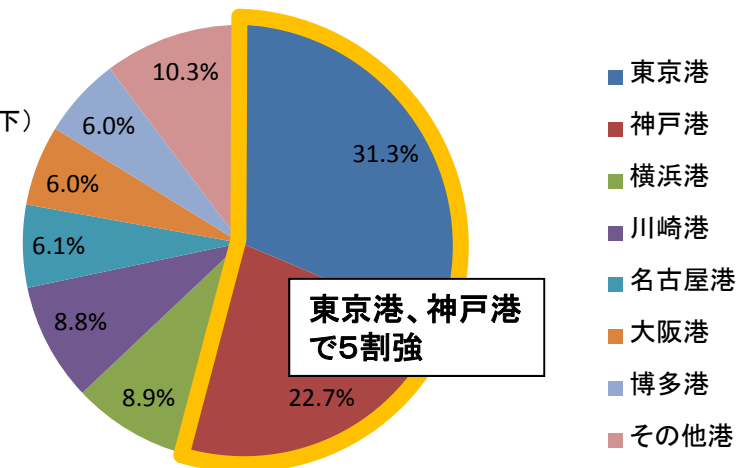
果実の国内生産量と輸入量(トンベース・2008年)

出典: 食料需給表(平成20年度)

○青果物輸入に関する全国の品目別、港湾別の割合



輸入青果物の品目別取扱割合(トンベース・2009年)



輸入青果物の港湾別取扱割合(トンベース・2009年)

出典: 貿易統計(2009年)

国の青果物食料輸入に係る施策

○食糧、農業・農村基本計画(平成22年4月農林水産省)

1. 食料、農業及び農村をめぐる状況を踏まえた政策的な対応方向
(6) 安心を実感できる食生活の実現に向けた政策の確立

【対応方向】

輸入食料の安定確保のための取組の強化、食品産業の持続的な発展、「後始末より未然防止」の考え方を基本に、国産農林水産物や食品の安全性向上のための科学的知見に基づく施策・措置、食品の生産から消費に至るフードチェーンにおける安全管理の取組強化等を通じて、食料の安定供給はもとより食の安全と消費者の信頼の確保を図っていくこととする。

○流通業務の総合化効率化事業の実施に関する基本的方針 (平成17年10月農林水産省、経済産業省、国土交通省)

第一流通業務の総合化及び効率化の意義に関する事項

1 我が国経済の国際競争力の強化

国内の物流については、高速自動車国道のインターチェンジ等や鉄道の貨物駅、港湾、漁港、空港その他物資の流通を結節する機能を有する社会資本等の近傍に立地する流通業務施設(トラックターミナル、卸売市場、倉庫又は上屋)を中核として、輸送、保管、荷さばき及び流通加工(物資の流通の過程における簡易な加工(具体的には、部品の組立て、小分け、詰替え、包装・こん包、商品名等の表示、検品等)をいう。)を総合的・効率的に実施することで、国内の物流コストやリードタイムの縮減を図ることが重要である。

物流機能集約化の事例（博多港）

<現状>

陸揚げ・検疫・一時保管場所と取引・配送場所等が分散しており、余分な輸送時間・費用が発生している。

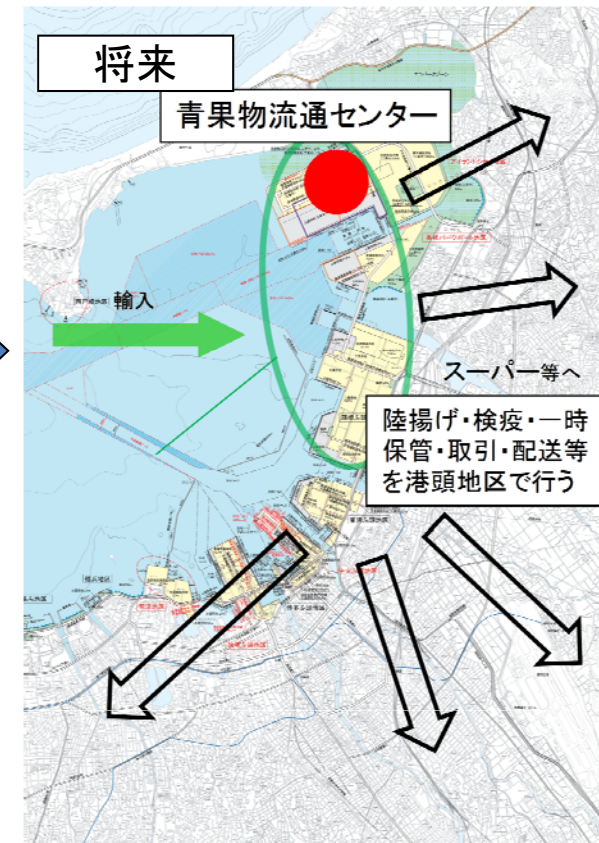
集約化

<将来>

港頭地区から市場までの輸送時間・費用の縮減により物流効率化が期待される。



集約化



物流機能集約化の事例（名古屋港）

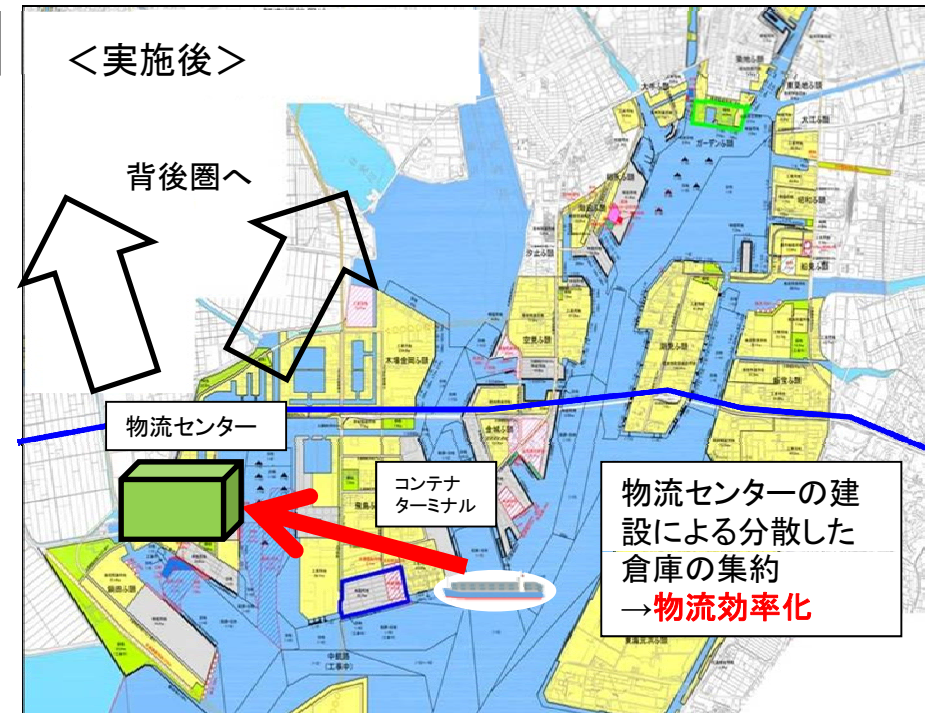
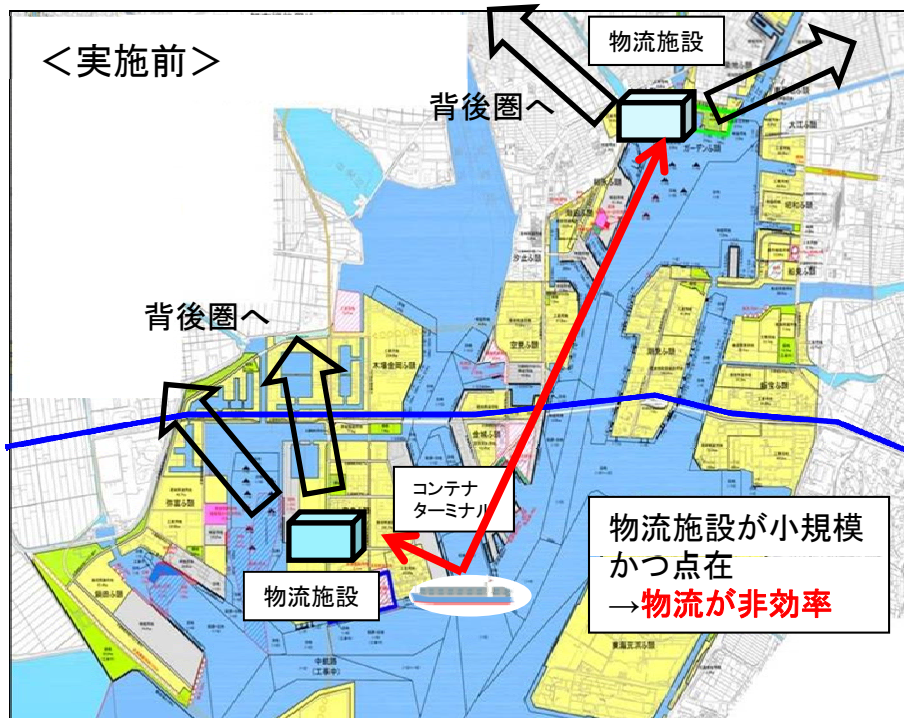
<実施前>

物流拠点が小規模かつ点在している。

集約化

<実施後>

分散した倉庫の集約を図るため、物流センターを建設し、これにより、横持ち輸送の解消及び検品等の流通加工作業の効率化が期待される。



← 輸入

神戸港における青果物物流の効率化

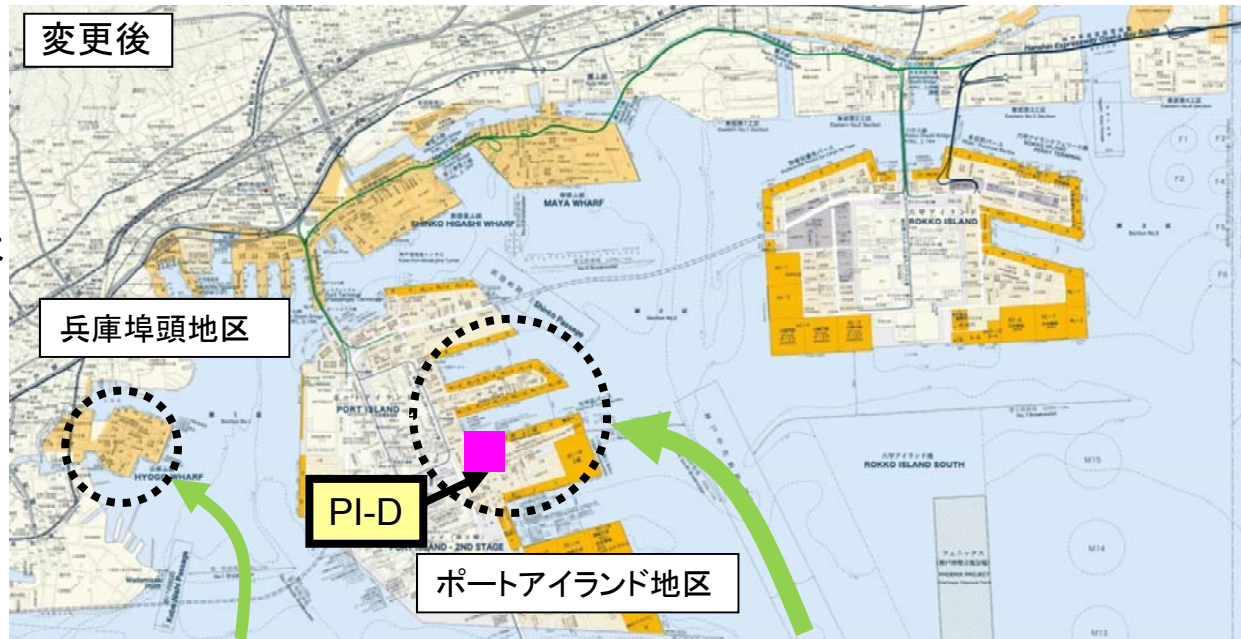
<現状>

青果物輸入の取扱地区が3カ所に分散している。



<変更後>

PI-Dの活用により取扱地区の集約化が図られる。



基本方針等における位置づけ

国としての確認の観点	基本方針	スーパー中樞港湾施策	他省庁の施策
コンテナターミナルの再編・集約の方針	<u>国際海上コンテナ輸送網の拠点</u> ・コンテナターミナルの再編・集約化による個々の国際海上コンテナターミナルの運営効率化を進める	・大水深の高規格コンテナターミナルの早期供用、埠頭の再編・利用転換の促進等	
輸入青果物に係る物流機能の強化	<u>バルク貨物等の輸送の拠点</u> ・船舶の大型化に対応した水深の岸壁とともに、高能率の荷役機械や十分な荷さばき用地を備える		<u>食糧、農業・農村基本計画（農林水産省）</u> ・輸入食料の安定確保のための取組の強化 <u>流通業務総合効率化事業に関する基本的方針（農林水産省、経済産業省、国土交通省）</u> ・港湾、空港等の近傍に立地する流通業務施設を中核として、輸送、保管、荷さばき及び流通加工を総合的・効率的に実施することで、国内の物流コストやリードタイムの縮減を図ることが重要